

《参考》 主要施策シートの見方

1-1 原子力安全・防災対策の推進

章の番号と分野、
主要施策名を記
載しています。

SDGsに関連するゴール

3、9、11、12、13

主要施策の方向性

【原子力安全対策の推進（安全性と透明性の向上）】

- 立地自治体として、事業者に対して、なる充実強化、原子力に関する情報、
- 国に対しては、事業者の安全対策の取、確保に十分な責任を持つよう、強く求め

SDGsの17のゴールのうち、関連
する番号を記載しています。現
時点では番号が入っていますが、
実際には、アイコンで示します。

【原子力防災体制の充実・向上】

- 国、県及び関係機関との連携を強化し、合同による原子力防災訓練を実施することにより、原子力災害への対応力を強化し、併せて避難計画の継続的な改善を行います。
- 広域的な避難の実効性を確保するため、避難道路や緊急輸送路等の幹線道路の早期整備に向けた取組を推進します。
- 原子力災害発生時に正しく行動できるよう、出前講座などを通じて、原子力防災知識の普及啓発に取り組みます。

主要施策の基本的な方向性を記
載しています。【 】には、
関連する見出しを入れています。

めざす姿

市民から信頼が得られる徹底した安全対策、情報公開による透明性が確保されているとともに、原子力に関する知識や原子力防災に対する正しい知識の普及により、原子力災害時に自分がとるべき行動を理解しています。

将来の姿として、どうなりたいか
を記載しています。

現況と課題

- 柏崎刈羽原子力発電所の度重なる不適切事案による市民の不安を払拭し、不安であることを、事業者に対して、信頼回復と徹底した安全対策の充実強化を強く求めるとともに、十分な情報公開により、原子力に関する透明性を確保する必要があります。
- 原子力政策については、国の責務のもとに行われるものであり、市民の安全と安心の確保に十分な責任を持つよう、引き続き国に求めていく必要があります。
- 原子力災害時の避難の実効性を高めるため、原子力防災訓練を重ね、「柏崎市地域防災計画(原子力災害対策編)及び「柏崎市原子力災害広域避難計画」の継続的な改善を図るとともに、広域的な避難路の整備が求められています。
- 国や県、防災関係機関との連携により、災害時の体制・対応力の向上に取り組んでいるところですが、原子力防災体制の更なる充実と原子力防災対策に対する住民の理解促進及び普及啓発に取り組むことが必要です。

主要施策のに関連する、現況と課題を
記載しています。

主な事務事業

- 原子力広報等対策事業
- 原子力調査情報収集事業
- 原子力防災対策事業

関連する個別計画

- 柏崎市地域防災計画(原子力災害対策編)
- 柏崎市原子力災害広域避難計画

写真

「○○○○○○○○○○○○○○」

策 定 中

(目標指標・主な事務事業・関連する個別計画・写真などを掲載します)

目標指標

| 指標名 | 現状値 | 目標値 (R11) |
|----------------------------|------|-----------|
| 原子力防災対策に関する研修会等の開催回数 | 55 | 90 |
| 原子力防災対策に関する研修会等の参加人数(延べ人数) | 1173 | |
| 原子力防災対策に関する研修会等での理解度(%) | - | 80 |